

平和・暮らしを守る

「代執行」訴訟弁論向け会見

デニー知事

沖縄県の「区域」——と述べました。

知事は20日、県内で定例会見し、名護市辺野古の米軍新基地建設に伴う設計変更承認について、「代執行」訴訟の第一回口頭弁論(30日)に向けた決意を語りあした。「これまでもこれからも県民の平和と暮らしを守り支えていふところ」と伝えた。伝えなければならぬ責任がある」

出した答弁書に基づき反論。県が公有水面埋立法に違反するとしていることについて、デニー知事は裁判所に提出された資料が相次ぐオスプレイ用いた大規模な訓練について、県民に不安を与えるものとして、陸上オスプレイ使用の自衛などを繰り返し防衛省沖縄防衛局に求めてきたと指摘。「要請を顧みることなくオスプレイが新石垣空港で訓練したことほ誠に残念だ」と表明しました。



定例会見する玉城知事
（左）
（右）
知事=20日、沖縄県庁

自衛隊が米軍と强行している共同訓練「レゾ

満たしていないうことをしっかり主張していく」と述べました。またデニー知事は、